

1学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・楽しい音楽活動を通して、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・リズムに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付く。
- ・音楽の楽しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむ。

◆ 評価の方法

実技、授業態度(発表など)

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○うたでともだちをつくろう ・うたでさんぽ ・ぞうさんのさんぽ ・てとてであいさつ ・ひらいたひらいた ・ミッキーマウスマーチ ほか ○おんがくに あわせてあそぼう ・せいじゃのこうしん ・うみ ○リズムに のってあそぼう ・しろくまのじえんか ・ぶんぶんぶん ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする。 ・友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取る。 ・歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取る。 ・拍の流れを感じながら、簡単なリズムを表現する。 ・歌ったり身体表現をしたりして、リズムの違いを感じ取る。 ・拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○いい おとを みつけてあそぼう ・どんぐりさんのおうち ・おとあそび ・おちば ・ひのまる ○ようすをおもいうかべよう ・おどるこねこ ・きらきらぼし ほか ○みんなであわせよう ・かえるのルンバ ・とんくるりんぱ ・んくるりん ・こいぬのマーチ ○のびのびと うたおう ・そろそろはるですよ ・きみがよ ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつ。 ・階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりする。 ・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫する。 ・楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏する。 ・発音や声の出し方に関心をもって歌ったり、みんなで声を合わせて歌う喜びを味わったりする。

2学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・楽しい音楽活動を通して、音楽に対する興味・関心を持ち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・リズムに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付く。
- ・音楽の楽しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむ。

◆ 評価の方法

実技、授業態度(発表など)

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<p>○うたでともだちの わをひろげよう ・みんなで1・2・3 ・ロンドンばし ・かくれんぼ ・えがおできょうもほか</p> <p>○ドレミで あそぼう ・ドレミのうた ・かっこう ・かえるのがっしょう ほか</p> <p>○リズムに のってあそぼう ・トルコこうしんきょく ・いるかはざんぶらこ ・山のポルカ ほか</p>	<p>・音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする。 ・友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取る。</p> <p>・歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ったり、音高感を身に付けたりする。 ・階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりする。</p> <p>・リズム譜に親しみ、拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現する。 ・拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、身体表現をしたり演奏の仕方を工夫したりする。</p>
後期	<p>○いい音を見つけてあそぼう ・虫のこえ ・音さがし ・シンコペーテッドクロック ほか</p> <p>○ようすをおもいうかべよう ・口ぶえふきと小犬 ・こぎつね ・夕やけこやけ</p> <p>○みんなであわせよう ・森の音がくかい ・こぐまの二月 ほか</p> <p>○のびのびとうたおう ・歌えばんばん ・春がきた ・きみがよ ほか</p>	<p>・音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつ。 ・音色の違いを生かして音の組み合わせ方を工夫したり、拍の流れに乗って演奏したりする。</p> <p>・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫する。</p> <p>・楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏する。</p> <p>・発音や声の出し方に関心をもって歌ったり、みんなで声を合わせて歌う喜びを味わったりする。</p>

3学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。
- ・音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむ。

◆ 評価の方法

活動の様子、実技、授業態度(発表など)、ノート(プリント)、テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○階名になれよう ・春の小川 ・海風きって ・茶つみ ほか ○リコーダーに親しもう ・笛星人(以降 通年) ・小鳥のために ・小さな花 ・さよなら ほか ○いろいろな音のちがいをかんじとろう ・おかしのすきなまほう使い ・金管楽器の音楽 ・うさぎ ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律を階名で模唱したり視唱したりして、楽譜を見て歌うことに慣れる。 ・リコーダーの音に気を付けて聴いたり、基本的な奏法を身に付けたりする。 ・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ふしのとくちょうをかんじとろう ・バードウォッチング ・ふじ山 ・馬にのって ・エーデルワイス ほか ○曲の気分をかんじとろう ・ちびっこカウボーイ ・ハックルベリーフィン ・ゆかいな木ぎん ほか ○音をきき合って合わせよう ・あの雲のように ・二人でおどりましょう ・パフ ○生き生きと歌おう ・きょうりゅうとチャチャチャ ・あの青い空のように ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫する。 ・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりする。

4 学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。
- ・音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむ。

◆ 評価の方法

活動の様子、実技、授業態度(発表など)、ノート(プリント)、テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○歌と楽器のひびきを合わせよう <ul style="list-style-type: none"> ・さくらさくら ・歌のにじ ・いろいろな木の実 ・とんび ○日本の音楽に親しもう <ul style="list-style-type: none"> ・こきりこぶし ・まきばの朝 ほか ○いろいろな音のちがいを 感じ取ろう <ul style="list-style-type: none"> ・音のカーニバル ・木管 楽器の音楽 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の階名視唱や視奏に親しみ、声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏する。 ・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむ。 ・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ふしのとくちょうを感じ取ろう <ul style="list-style-type: none"> ・もみじ ・陽気な船長 ・オーラリー ほか ○曲の気分を感じ取ろう <ul style="list-style-type: none"> ・つるぎのまい ・冬の歌 ほか ○音をきき合って合わせよう <ul style="list-style-type: none"> ・パレードホッポー ・茶色の小びん ほか ○生き生きと歌おう <ul style="list-style-type: none"> ・歌よびびけ ・グッデー グッバイ ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫する。 ・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりする。

5学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。
- ・音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむ。

◆ 評価の方法

活動の様子、実技、授業態度(発表など)、ノート(プリント)、テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○ふしの重なり合いを感じ取ろう ・こいのぼり ・やさしい風に ほか ○アジアの音楽に親しもう ・アジアの国々の音楽 ・子もり歌 ほか ○いろいろなひびきを味わおう ・白鳥 	<ul style="list-style-type: none"> ・声や音が重なり合う響きを感じ取って、表情豊かに歌ったり演奏したりする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫する。 ・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむ。 ・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・旋律と低音の響きを感じ取って、演奏の仕方を工夫する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○重なり合う音の美しさを味わおう ・静かにねむれ ・威風堂々第一番 ほか ○曲想を感じ取ろう ・冬げしき ・キリマンジャロ ほか ○日本の音楽を味わおう ・浜辺の歌 ・スキーの歌 ほか ○心をこめて演奏しよう ・夕ぐれ ・大空がむかえる朝 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりする。 ・和音の響きの変化を感じ取って、演奏の仕方を工夫する。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫する。 ・歌詞と旋律のかかわりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを味わう。 ・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わう。

平成20年度

6学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。
- ・音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむ。

◆ 評価の方法

活動の様子、実技、授業態度(発表など)、ノート(プリント)、テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ふしの重なり合いを味わおう ・おぼろ月よ ・ラバースコンチェルト ○世界の音楽に親しもう ・アンデスの祭り ・われは海の子 ○いろいろなひびきを味わおう ・小犬のワルツ ・風を切って ほか	・声や音が重なり合う響きを味わって、表情豊かに歌ったり演奏したりする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫する。 ・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、世界の音楽に親しむ。 ・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・全体の響きを感じ取りながら、楽器の音色を生かして演奏の仕方を工夫する。
後期	○重なり合う音の美しさを味わおう ・星の世界 ・ふるさと ほか ○曲想を感じ取ろう ・木星 ・一日一歩の未来 ○日本の音楽を味わおう ・春の海 越天楽今様 ○心をこめて演奏しよう ・さよなら友よ	・和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりする。 ・三部合唱の響きを味わって歌う。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして表現の仕方を工夫する。 ・日本の楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを味わうようにする。 ・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。

平成20年度

5学年 家庭科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付く。
- ・製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できる。
- ・自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする。

◆ 評価の方法

テスト、実技、ノート(プリント)、授業態度(発表など)

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○見つめよう 家庭生活	<ul style="list-style-type: none">・自分の1日の生活をふり返り、さまざまな課題をもって、家族に協力しようとする。・自分の生活時間をふり返り、できる仕事を分担したり、家族とふれ合いの時間をもうと創意工夫したりする。・家族の一員として責任をもって仕事を分担・実行できるとともに、家族とのふれ合いや団らんをもつ。・家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、家族の一員としてそれを分担することの大切さを理解する。
	○ぬって使っ て楽しい生活	<ul style="list-style-type: none">・布を用いて生活に役立つ物を製作することに興味をもち、活用しようとする。・生活に役立つ布製品を考え、材料や形など、自分なりに工夫してつくる。・生活に役立つ布製品の製作計画を立て、裁縫用具やミシンを安全に使ってつくる。・裁縫用具やミシンの安全な取り扱い方、および、製作に必要な材料や手順、方法を理解する。また、家族の生活に役立つランチョンマット、エプロンなどの製作の仕方を理解する。
後期	○料理って楽 しいね！おい しいね！	<ul style="list-style-type: none">・日常の食生活や調理に関心をもつ。・調理の手順や、食品に合った調理の仕方を工夫する。・調理実習の進め方や、安全で衛生的な調理の仕方の基本が分かり、「ゆでる」調理と「いためる」調理をする。・食品の体内内ではたらきが分かり、いろいろな食品を組み合わせて食べることの必要性を理解する。
	○くふうしよ うかしこい生活	<ul style="list-style-type: none">・身の回りの整理・整とんを通して、物の使い方や買い方に興味をもつ。・身の回りを快適に整えたり、地域・環境に配慮した生活の仕方を工夫したりする。・整理・整とん、掃除の手順、不用品の活用の方法や適切なごみの始末の仕方、計画的な物の使い方や買い方を理解する。

平成20年度

6学年 家庭科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付く。
- ・製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できる。
- ・自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする。

◆ 評価の方法

テスト、実技、ノート(プリント)、授業態度(発表など)

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○見直そう 毎日の食事	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食事のとり方を栄養的なバランスの面からふり返り、よりよい食生活を送ろうとする。 ・おいしいごはんのたき方とみそしるのつくり方を工夫する。 ・ごはんのみそしるを手順よく衛生や安全に気をつけてつくる。 ・ごはんのたき方・みそしるのつくり方を知り、いろいろな食品をバランスよく組み合わせる。 ・衣服のはたらきや、生活に合った着方に関心をもつ。また、生活に役立つ物をつくらうとする。
	○つくろう！ さわやか 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちよく過ごすために、衣服の着方や手入れを工夫する。また、個性を生かして生活に役立つ物を製作する。 ・生活に合った衣服の着方や手入れができる。また、目的に合った大きさや形を考え、適切な材料を選んで生活に役立つ物を製作する。 ・衣服のはたらきや着方、手入れの仕方を理解する。また、生活に役立つ物として、身近に使われている袋やカバー、クッションなどの製作の仕方を理解する。
後期	○まかせて ね！きょうの ごはん	<ul style="list-style-type: none"> ・食品を組み合わせ、家族が喜ぶおかずを工夫してつくる。 ・これまでの学習を生かして、調理実習計画を立て、安全に気をつけて調理する。 ・食品の選び方やいろいろな調理の仕方を理解する。
	○くふうし ょう！毎日の くらし	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家での住み方に関心をもち、問題を見つけようとする。 ・快適に住むための方法を自分なりに考え、工夫する。 ・自分の課題を選び、解決を図るためにいろいろな方法で調べる。 ・快適に住むための方法や工夫を理解する。
	○伝えよう！ ありがとうの 気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・家族やお世話になった人たちのことを考え、感謝の気持ちを表そうとする。 ・家庭科の学習を生かして学習計画を立て、感謝の気持ちを伝えられるように工夫する。 ・家族や近隣の人々がかかわり合い協力して家庭生活を支えていることを理解する。